

【教育目的】 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

- 【到達目標】
- ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
 - 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
 - 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

| 教科目 | 単元 | 仮 | 教育内容 | 担当 | 時間 | |
|-----|--|--|---|--|----|---|
| 1 | ヘルスケアシステム論Ⅰ (15時間) | 社会保障制度概論 | 1 社会保障制度の体系 2 社会保障の関連法規 | 佐山 | 6 | |
| | | 保健医療福祉サービスの提供体制 | 3 保健医療福祉制度の体系 3-1 地域包括システム 3-2 地域共生社会 | 太田 | 6 | |
| | | ヘルスケアサービスにおける看護の役割 | 4 看看連携 5 地域連携における看護職の役割 6 保健医療福祉関連職種を理解 | 藤野 | 3 | |
| | | | 7 看護の社会的責務と業務基準 7-1 看護関連法規 7-2 倫理綱領 7-3 看護業務基準 | | | |
| 2 | 組織管理論Ⅰ (15時間) | 組織マネジメント概論 | 8 組織マネジメントに関する基礎知識 9 看護管理の基礎知識 | 福島 | 6 | |
| | | 看護実践における倫理 | 10 看護実践における倫理的課題 11 倫理的意思決定への支援 | 高田 | 3 | |
| | | | 6 | | | |
| 3 | 人材管理Ⅰ (30時間) | 労務管理の基礎知識 | 12 労働法規 13 就業規則 14 健康管理(メンタルヘルスを含む) 15 雇用形態 16 勤務体制 17 ワークライフバランス 18 ハラスメント防止 | 穴井 | 6 | |
| | | | 看護チームのマネジメント | 19 チームマネジメント 20 看護ケア提供方式 24 准看護師への指示と業務 25 看護補助者の活用 | 谷川 | 6 |
| | 21 リーダーシップとメンバーシップ 22 コミュニケーション 23 ファシリテーション | 吉田 | | 6 | | |
| | 人材育成の基礎知識 | 26 成人学習の原理 27 役割理論 28 動機づけ理論 29 人材育成の方法 | | 江藤 | 6 | |
| | | 6 | | | | |
| | 4 | 資源管理Ⅰ (15時間) | 経営資源と管理の基礎知識 | 30 診療・介護報酬制度の理解 31 経営指標の理解 32 看護活動の経済的効果 | 角田 | 6 |
| | | | 看護実践における情報管理 | 33 医療・看護情報の種類と特徴 34 情報管理における倫理的課題(情報リテラシー) | 宇都 | 9 |
| 5 | 質管理Ⅰ (15時間) | 看護サービスの質管理 | 35 サービスの基本概念 | 東 | 6 | |
| | | | 36 看護サービスの質評価と改善 37 看護サービスの安全管理 38 看護サービスと記録 | 宮下 | 9 | |
| | | | 追 論理的思考・問題解決思考・問題解決過程 | 木村 | +9 | |
| | | | 15 | | | |
| 6 | 統合演習Ⅰ (15時間) | 演習 | 39 学習内容を踏まえ、受講者が取り組む課題を明確にし、対応策を立案する。 | | 15 | |

105時間 演習上限21時間【統合演習15時間含む】

114

別枠:レポートの書き方(3時間)

向井

+3